

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

316

2008年7月27日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504

横山幸次区議のホームページを  
ご覧下さい!  
<http://www.yokoyama-kugi.com/>

## 年内に地域防災計画見直し完了か？ 区民の命と財産守る施策はどうか

減災で「死者半減」などの目標で良いのか？  
災害弱者対策など大地震の教訓を生かした計画に

区の地域防災計画は、阪神大震災後の修正以来一度も見直していません。日本共産党区議団は、以前から、首都圏直下地震による新たな被害想定が出され、また「減災」の重要性も指摘されるも、実態にあつた見直しを行うべきと求めてきました。ようやく、今回議会にその概要と年内に新計画を策定すると報告がありました。

荒川区の場合、特に「耐震化」の強力な推進は待った。例えば、避難所で高齢者の介護は困難、福祉施設との連携強化、要援護者とその援助者の把握の遅れも問題になっていきます。区民の声を聞く機会もあるようですが、教訓を徹底して生かし、区民参加で実効性のある地域防災計画にすることが求められています。



### 《検討内容の一部》

減災目標 = 死者半減、避難者3割減など  
(建物耐震化・不燃化、家具転倒防止など)  
出火延焼など防止 = 住宅用火災報知器普及など早期発見、防災広場に機材配備など  
高齢者、障害者対策、外国人支援  
...はじめ災害への備え、災害発生時の対応、災害復旧・復興などで新たな肉悪内容が検討されている

### 《今後の予定》

- 10月 荒川区防災会議開催  
「地域防災計画(修正案)」を作成  
その後区議会に報告、東京都との協議
- 11月 パブリックコメント  
(区民から意見を聞く)
- 12月 新「荒川区地域防災計画」策定

### 主な被害想定

2006年5月に東京都防災会議が発表した、新たな被害想定(荒川区部分の抜粋)

夜間人口 (人)	昼間人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	建物全壊 棟数	火災			人的被害		避難者 一日後(人)	帰宅困難者 (人)
				出火件数	焼失棟数 (倒壊建物含む)	焼失面積(km <sup>2</sup> )	死者(人)	負傷者(人)		
180,468	176,358	10.20	8,448	38	4.50	19,709	338	3,326	109,782	32,556
176,886	175,677	10.20	1,308	—	2.00	12,510	320	3,035	65,318	29,746

上段: 今回(2006年度)の東京都最終報告 M7.3 東京湾北部地震 冬の夕方18時 風速15mの場合  
下段: 1997年度東京都発表M7.2 区部直下地震 冬の夕方18時 風速6mの場合

### 裏面 区政情報など

## 定例法律相談

### 8月の定例相談は、お休みします。

### お急ぎの方は、ご連絡下さい。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。  
秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

## 八丁目都営住宅の建て替えて猛暑の引っ越し

まちの話 あれこれ

梅雨明けから一気に連日の真夏日。それだけでなく、体力を消耗する季節の中、大規模な引っ越しが行われています。ご承知のように都営町屋八丁目アパートの建て替えに伴って、多くの方が、七月までに転居を迫られ、町屋六丁目アパート二・三・四号棟中心に入居しています。他の地域に行かれた方もおられます。生れ育った地から年をとって引っ越すのは精神的にもたいへんです。お話を伺うと「もう疲れ果てた」とのこと。また行く先々で「二人で2Kはあまりにもひどい」と怒りの声です。いま東京都も「二人で2K」基準があまりにひどいため、今後の建て替えで手直しを迫られていると聞きます。同時に、これは都営住宅

だけでなく、東京都が「都民の住居水準はこの程度でよい」と考える住宅政策につながります。まさに都民全体の問題です。横山幸次



都営町屋6丁目アパート

